

平成30年度事業報告書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

特定非営利活動法人 沖縄スーパービジョン研究会

1 事業の成果

特定非営利活動事業として、個人スーパービジョン事業では2名の社会福祉士に対してスーパービジョンを行ったが、いずれも当法人社員であり、集客への改善が必要である。

スーパービジョン普及・定着事業では、前年度に引き続き、児童養護施設等の中堅職員研修を受託することができ、中堅職員に求められる役割などにスーパービジョンの必要性についても伝え、その普及と定着に貢献できたと言える。自主企画としては何も行うことができなかつたため、次年度は工夫をしていきたい。

スーパーバイザースキルアップ事業では、管理職のための部下を育てる実践講座を開催し、7名の受講者に対して、5カ月間で8回の講座を開き、スーパーバイザーとして必要な知識・技術を実践とフォローと通じて学んでいただいた。法人としての認知が進むことで、事業拡大が期待できる。次年度も引き続き行っていく。

権利擁護関連事業は、今年度は何も行わなかつたが、成年後見制度利用促進法により、市町村計画の推進について、市町村の推進の動きが出始めたため、次年度は連携の取れる市町村とかかわりを持っていきたい。

その他目的を達成する事業として、介護従事者でんわ相談事業を実施した。週1回の電話相談窓口の開設であったが、相談の電話は1回であった。相談したいときに、つながらないでは、相談にならないともいえるため、引き続き助成金・協賛金の獲得により事業の拡大を計画したい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費の 金額 (千円)
個人スーパー ビジョン事業	相談援助職者に対する個人スーパービジョンの実施 ・オリエンテーション ・事前面談 ・個人セッション全6回 ・総括面談	通年	福祉セ ンター 小会議 室等	コーデ ィネー ターと して、 1人	・社会福祉士 ・精神保健福 祉士 ・介護支援専 門員 ・障害者相談 支援専門員 ・市町村相談 対応職員等 20人	85
スーパービジ ョン普及・定 着事業	スーパービジョンの普及 ・定着を目的とした研修 会の開催及び、受託	年1回 以上実 施	沖縄県 総合福 祉セン ター等 研修施 設	コーデ ィネー ターと して、 3人	個人スーパー ビジョン事業 対象者の他、 福祉施設・事 業所の職員 400人	418
スーパーバイ ザースキルア ップ事業	現にスーパーバイザーと して活動されている方及 び、スーパーバイザーを 目指す指導的立場にある 方を対象に、集中した研 修等プログラムを計画 し、実施していく	通年	沖縄県 総合福 祉セン ター等 研修施 設	コーデ ィネー ターと して、 3人	スーパーバイ ザーとして活 動している方 及び、スーパ ーバイザーを 目指す方 10人	377
権利擁護関連 事業	①成年後見制度利用促進 に関する調査、研究、後 見人等人材育成、市町村 への協力、事業の受託等 ②虐待の防止・権利擁護 に関する事業・研修の受 託	通年	沖縄県 総合福 祉セン ター等 研修施 設	コーデ ィネー ターと して、 3人	一般市民から 福祉・医療関 係専門職まで 300人	0
その他目的を 達成する事業	人間関係を始めとしたス トレス、悩み等を抱える 介護従事者の精神的負担 の軽減を図るとともに、 介護現場の実態を把握 し、フィードバックと発 信により、介護業界の職 場環境改善に貢献する	週1回 4時間 通年	電話相 談に適 当な事 務所等	電話相 談員1 人	高齢・障がい ・児童関連施 設、事業所の 介護従事者等 6,000事業 所、20,000 人周知	71